

地域文化財研究所



所長 中村 琢巳 (建築学部 建築学科 准教授)

登録有形文化財や歴史的町並みといった身近な地域文化財の保存活用は、文化的価値の評価・保存という文化財学のアプローチだけでは少子高齢化、空き家、防災といった地域課題にこたえられない現状があります。建築史、防災計画、環境保全、映像学、歴史資料学といった異分野融合と地域連携を重視し、「文化財の価値を守り、未来へ伝え、持続可能な地域づくりへ活かす」という複合新領域の形成を目指すプロジェクト研究所です。

研究キーワード

- 地域文化財
- 歴史的建造物
- 保存活用
- 文化財防災
- 地域防災
- 環境保全
- 環境生態工学
- 環境教育
- 町並み学習
- 映像学
- 歴史資料学
- 東北文化史
- 日本建築史

研究内容

- 歴史的町並みの価値を継承し、防災性能を高める「文化財防災」
- 文化財修復と自然環境保全をつなぐ「SDGs環境学習」
- 歴史的町並みの価値を発信する地域連携型の「映像学」
- 「建築史」と「歴史資料学」が融合した文化財の価値評価



歴史的建造物の実測調査



黒板塀の伝統的修理(柿渋塗装)



北上川河口域での茅刈り

文化財を未来へ伝え、
地域づくりへ活かす

